

3 飼料作物

3-1 飼料作物の作付動向

- 令和5年飼料作物作付面積は146千haと、令和2年に比べ22千haの増加(令和2年比17.7%増)。飼料作物作付面積は、平成25年までは増減を繰り返し推移。平成27年に増加に転じたのち横ばいで推移していたが、令和5年に増加した。

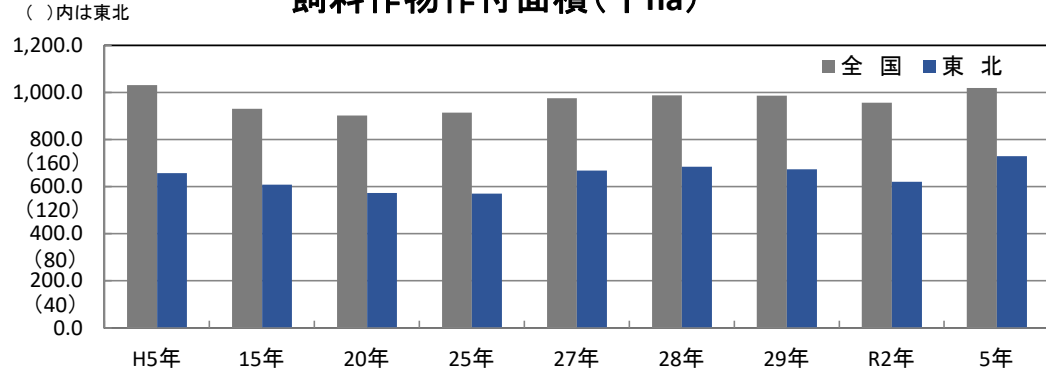
- 令和5年の県別の作付面積は、岩手県が47千haで最も多く、次いで青森県の28千ha、宮城県が26千ha、福島県の21千ha、山形県、秋田県の12千haとなっている。

3-2 稲発酵粗飼料の作付動向

- 稲発酵粗飼料作付面積は、近年はほぼ横ばいで推移していたが、令和3年より増加傾向となったが、令和7年は前年から20%以上減少し8,052haとなっている。

- 県別では、宮城県が2,261haで最も多く、次いで岩手県の2,004ha、山形県の1,230haとなっている。

飼料作物作付面積(千ha)



(単位:千ha,%)

	H5	15	20	25	27	28	29	R2	5	対前年比
全国	1032.0	929.4	901.5	915.1	975.2	988.4	985.1	955.7	1018.0	106.5
東北	131.3	121.6	114.6	114.1	133.5	136.9	134.6	124.0	145.9	117.7

資料:農林水産省「作物統計」、「耕地及び作付面積統計」

注:平成29年以降の作付面積調査は3年周期で全国調査を実施。

◎稲発酵粗飼料の作付面積の動向

(単位:ha,%)

	H20	28	29	30	31	R3	4	5	6	7	対前年比
全国	9,233	41,490	42,891	42,537	42,450	44,248	48,404	53,055	56,479	48,896	86.6
東北	2,356	7,593	7,699	7,476	7,457	7,946	9,038	9,494	10,270	8,052	78.4

資料:21年度までは東北農政局畜産課調べ。22年度以降は新規需要米の計画認定状況による。

◎県別稲発酵粗飼料作付面積(令和7年)

(単位:ha)

県名	面積	対前年比
青森県	676	72.5%
岩手県	2,004	79.1%
宮城県	2,261	76.0%
秋田県	1,016	74.3%
山形県	1,230	90.0%
福島県	865	78.8%
計	8,052	78.4%

注:ラウンドの関係で合計と内訳は一致しない。